

産地情勢 (2023.11.29)

ブラジル産とうもろこし

大豆の作付遅れでサフィナ・コーンの作付けが増加しつつある。(11月29日)

クロープカレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内飼料需要向
サフィナ・コーン (冬作)		1-3月上旬	4月	6-8月	76%	輸出の中心 大豆収穫後に作付

ブラジル産大豆

作付けは75%進捗(平年87%)した。北東部や北部の乾燥と南部の多雨で遅れており、今後の天候の改善が期待される。(11月29日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	9月-12月初め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

作付けは24%進捗(平年33%)した。とうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換してとうもろこしの作付面積が減少するとみられる。(11月15日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

作付けは6%進捗(平年19%)した。北部産地で早植えのとうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換して大豆の作付面積が増加するとみられる。(11月15日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測 (11月9日)

とうもろこし

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	382.9	348.8	387.0
ブラジル (3-2月)	116.0	137.0	129
アルゼンチン (〃)	49.5	34.0	55

- ・米国は 2023/24 年度が生産量が 2.6 百万トン増加した。単収が前月比 1.9 ブッシェル増加した為で、期末在庫率は 14.9% に 0.2% 増加した。

大豆

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	121.5	116.2	112.4
ブラジル (2-1月)	130.5	158.0	163
アルゼンチン (4-3月)	43.9	25.0	48

- ・米国は 2023/24 年度が生産量が 0.7 百万トン増加した。単収が前月比 0.3 ブッシェル/エーカー増加の 49.9 ブッシェル/エーカーとなったため期末在庫率は 5.86% に 0.6% 増加した。

- ・ブラジルの 2022/23 年度が生産量が 2 百万トン増加した。

* 北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)